

# 「ベテルに帰る」

2025.5.21  
聖書に学ぶ 11  
創世記 35：1～7  
ヘブル 11:16

聖書のいう「福音」(良き訪れ・グッドニュース)とはどのようなものでしょうか。

新約で「福音」(良き訪れ)とは、主イエス・キリストの十字架と復活によって、罪から贖われる救いの道が開かれたことです。そしてこの「福音」を信じるなら罪人でも救われ、神様に受け入れられ、神の養子とされるといふ、驚くべき恵みに与ることができます。

この「福音」は新約において、イエス・キリストにより完成されたのですが、旧約でも、限定的に与えられていました。信仰によるなら、アブラハムから受け継いだ祝福を、イサクから受け継いだヤコブにも与えられたのです。

## 今日の学びの要点

- ・ 神様の約束は、アブラハム、その子イサクそして、孫ヤコブにも与えられました。神様はこの一族を選ばれ、彼らは様々な恵みを信仰によって神様から頂きました。その究極は、「天国の門」をくぐり、神の都に入ることです。彼らは遙かに天の故郷を仰ぎ見て目指し、主と共に歩み、その信仰に報いられたのです。

## I、ヤコブの人生の旅路

1、兄エサウを騙し逃れたヤコブの人生はどのようなものでしたか。

- ① 叔父ラバンに騙された 14 年間。(創世記 29～30 章)
- ② 祝福されたヤコブを放さないラバンとの決別 (創世記 31:22～44)

2、約束の地カナンへの帰還中に、どのような出来事がありましたか。

- ① 兄エサウが 400 人を連れて、ヤコブたちに近づいて来た。(創世記 32:6)
  - ・ 用意周到のヤコブ
  - ・ 襲われても自分だけは助かる算段

② 真夜中、ヤボクの橋の処で恐れ悩んでいると、主は襲いかかって来られました。ヤコブは主と格闘し、彼は主に勝たせてもらいました。（創世記 32:24~25）

③ 腿こむらのつがいを外されても主を掴んで放さないヤコブは、主からどのような取り扱いを頂いたのでしょうか。（創世記 32:26~30）

- ・名前を尋ねられた
- ・新しい名前を頂いた。

## Ⅱ、ベテルに帰る

1、やっとエサウと和解したヤコブですが、今度は息子たちがトラブルを起こしました。（創世記 34:1~29）

- ・娘のディナのこと、シェケム(サマリヤ)の住人とのトラブル

2、そこにいられなくなったヤコブに、神様は彼らの居場所はどこだと言われましたか。（創世記 35:1）

① 敵意を持たれるような難しい事柄に直面した時、ヤコブは一族にどうするようと言いましたか。【聖別】（創世記 35:2~4）

② 神様は近隣住民から仕返しされないように守られました。何をして下さったのでしょうか。（創世記 35:5）

3、ベテルに帰って来て祭壇を築いたヤコブに、主はどう言われましたか。【ベテル：天の門】（創世記35:9~12）